

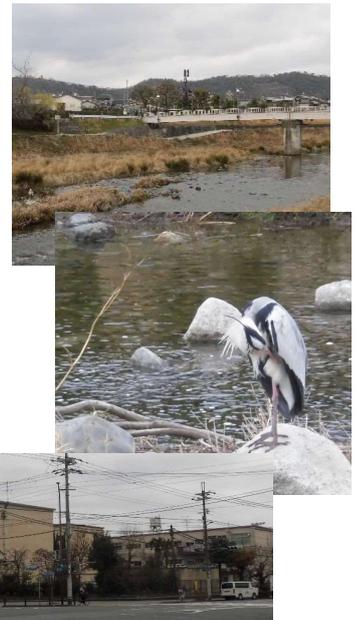
# やる気発生装置

## 入試の前倒しと、新たな学びの可能性

あす20日が「春分の日」ですので、週末は3連休となります。今日は地域の中学校で「修了式」が行われ、先日卒業した3年生に加えて1・2年生が授業を終えて、この3連休から春休みに入るようです。先生方にとっては新年度の準備や異動などもあるので1年の中でもトップレベルに忙しい時期となるようですが、中学生は一息入れられる時期ということになるのかも知れません。

これまで3月6～8日頃に公立の中期選抜があって高校入試が一段落し、それから慌ただしく各種行事をへて卒業式、合格発表というのが卒業する中3生の流れだったのですが、来年からはその日程観がやや変わることになりそうです。公立入試が2月18・19日（確定ではありませんがそれくらいの日になるとされています）に終わり、その時点で受験に向けて学習することは基本的になくなるわけです。この状況が卒業まで1ヶ月ほど続くとなると、その期間に何をするのが問題になります。ひょっとしたら校外学習や文化祭・体育祭など（近年、熱中症の心配なく屋外で運動できるこの時期はかなり貴重です）をここに移す学校も出るかもしれませんし、教科の枠を超え、ある程度の時間をかけて取り組む探究学習などに取り組める機会にもできる可能性があります。実は、どこの地域でもこの時期に中3生が「間延び」することを心配して入試日程の前倒しに中学校が反対するのはよくあることで、京都でもおそらく今回の制度変更でかなり苦労した部分ではないかと思えます。それでも先生方にとって「本当にやりたかった授業」ができる、「本当に伝えたかったこと」を生徒に伝えられる時間ができたという面もあるんです。入試終了から卒業までの期間をどのようにして有意義なものにデザインするのか、中学校の力量が試されることになりそうです。

そして、これはそのまま塾が直面する課題でもあります。私学・前期から最後の入試までの約3週間、ここは「人生のなかでも大きく成長できる時期」として、毎年みんなの頑張りを見守りつつ伴走してきました。そこに受験勉強に代わる学習であれ他の活動であれ、それだけの成長を生み出せる価値のある時間をつくり出さなければいけません。心配は尽きませんが、新しいことに挑戦できるチャンスの時でもあります。その使い方を、じっくり考え抜きたいと思っています。



きょうの京都は、曇り空にやや冷たい風が吹いていて、春の気配は少し遠のきました。それでも来週はかなり高温になるらしく、お彼岸を過ぎたら、もうあつという間に京都の夏がやってきそうな予感がします。

### 当面の教室予定

**3/20(金・祝)**

16:00～22:00

**3/21(土)**

16:00～22:00

**3/22(日)**

16:00～21:00

**3/23(月)～3/25(水)**

16:00～22:00

※21時以降、教室に生徒が残っていない場合には閉室させていただきます。

※天候や各種感染症の状況等により、変更させて頂く場合があります。